



### 排水ポンプ車の夜間設置訓練が行われました

7月9日（火）、千谷地内の茶郷川と信濃川の合流地点で排水ポンプ車の夜間設置訓練が行われました。この訓練は、国土交通省信濃川河川事務所が行ったものです。

集中豪雨などで信濃川の水位が上昇すると、茶郷川へ逆流し内水氾濫を招くため、合流点の水門を閉める必要があります。その場合、茶郷川の水が流れ出る先が無くなるため、こういったポンプ車などで排水する場合があります。訓練は、そのような事態が夜間に起きたことを想定し行われ、この日は茶郷川の水門を締め切り、溜まった川の水をポンプで吸い上げ、堤防越しに信濃川へ放水しました。

訓練ではポンプは1台で稼働しましたが、ポンプ車には4台のポンプが積んであり、4台すべてが稼働すると、毎秒0.5トンの水を排水することができます。

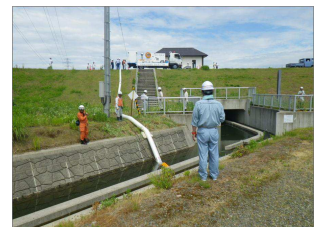


同様の訓練は冬期間を除く毎月1回、夜間訓練は年1回行われています。また、このポンプ車は以前は長岡市内の信濃川河川事務所に配備されていました。現在は妙見堰管理支所にあり、万一の場合の迅速な排水作業が期待されます。



### ●表沢川でも訓練が行われました

6月14日（金）には、信濃川対岸の表沢川と信濃川の合流地点でも同様の訓練（日中）が行われ、緊急時のポンプ設置手順などを確認しました。



# 「田んぼダム」

## って何？



排水樹



排水樹からの排水の様子

「田んぼダム」とは、もともと田んぼが持っている貯水機能を活用し、たくさん雨が降った時など、一時的に田んぼに水を溜めることにより、河川に流れ込む雨水の量を調整し、洪水被害を軽減させるためのものです。

小千谷市では、右図の地区で、山吉土地改良区や耕作者のみなさんから協力をいただきながら、田んぼダムを整備し、洪水軽減対策に取り組んでいます。



■田んぼダムについてのお問い合わせ／農林課農地林務係  
(電話83-3510)

## ●田んぼダムはどうやってやるの？

田んぼの排水口に排水柵を設置し、排水管より小さな穴の開いた調整板などを取り付けるだけで、簡単に取り組むことができます。



### 縦型調整方式

排水樹の溝に配水管より小さな穴の開いた調整板を設置する方法です。



大雨の際はここ程の高さまで水田に水を貯留します。

通常の排水は穴から流れ出します。



※上から見たところ

雨水を一時的にためて、時間をかけて少しずつ流すことにより、排水路等の増水が軽減されます。

